

Forest 通信 H28.10

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.332

巻頭 photo

高尾山の生きものたち

オオセイボウ (セイボウ科)

ハチとは思えぬ体色を持ったハチがオオセイボウです。漢字で書くと大(オオ)青(セイ)蜂(ボウ)となります。全身メタリックブルーで体長は12~20mm。主に秋口に目にします。この写真はオミナエシに吸蜜に来たところを写しましたが、小さい上に素早いので撮影には苦労しました。最近はこの色彩に憧れた撮影者が増えてきております。

青いハチは幸せを呼ぶとか、本当ですかね？

今月の一句



(フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎)

「これハチ? 構えるカメラ 小刻みに」

二美ちゃん 富ちゃんの スズメバチ



スズメバチ等による蜂刺され事故が多くなる季節となった。キロスズメバチなどは、これからが子孫を残すため新女王蜂を育てる時期になる。また巣も大きくなりオオスズメバチや哺乳類の栄養源として巣が襲われることが多くなる。巣を防衛するために神経過敏になり、近づくものに攻撃してくるのである。

日本では4200種以上の蜂が記録されているが、人に危害を加える蜂はスズメバチ類やアシナガバチ、ミツバチなど女王蜂を中心とした社会性の蜂とマルハナバチで蜂全体の約2%である。蜂刺され事故の中で多いのはキロスズメバチが多い。蜂毒の強さは、アシナガバチ>ミツバチ>キロスズメバチ>オオスズメバチの順になっている。オオスズメバチは体が大きく毒液量が多く、攻撃性が強いいため同じ個体が何度も刺したりするため致命的になることもある。年間40人位の蜂による死亡事故が発生し、約8割はスズメバチ類によるものである。死亡者の多くは1時間以内、中には5分で死亡した例もあり、山の中では対処が困難なことが多い。

高尾山でも、オオスズメバチがみられる。昆虫類の生態系の上位に君臨するオオスズメバチが多いことは、高尾山の動植物の多様性を示すものであろう。蜂は生態系の中で天敵として自然界のバランスを保

ち、花粉の送粉者として植物の生存に大きく寄与しているが、人に対しては殺人バチとしての側面もある。このような蜂と共存していくためには蜂を刺激しない、振動を与えない、巣に近づかないなど常に自己防衛を心がけていくことが必要であろう。

(二美)



「木の成長としくみ」～森林カレッジⅢ～

平成28年9月10日(土)に森林カレッジⅢ「木の成長としくみ」を開催しました。

午前中は元森林総合研究所多摩森林科学園長、三輪雄四郎先生の講義です。木はどのような仕組みで成長していくのかというテーマでの講義では「外側から成長していくのか、または内側から成長するのか」という基本的な知識から、細胞の構造といった専門的な分野まで幅広い講義内容となっています。参加者達からは「知っていたつもりだったが、基本的な知識ですら知らないことが多いのに気付かされた」という声もあり意義深い講義となりました。

午後からは、参加者待望の間伐体験です。作業現場は23年生のヒノキ人工林で小径木が対象ですが、普段の生活では体験できない足場の悪い急傾斜地での作業とあってか、想像以上に苦労されている様子がかがえしました。実際に自分の手で生きたヒノキを伐採した感触は、こちらが想像していた以上にインパクトが強かったらしく「小さい木なのに倒れた瞬間の音に驚いた」とか「20年かけて成長した木を切り倒すことの責任の重さを感じた」など、我々主催者にとっても初心に返らされる意見を多くいただきました。

苦労して伐採した後は、枝払いと玉切り作業を行ってから林道まで運搬しました。小さいとはいえ生のヒノキの丸太は意外に重かったらしく、作業の終了直後では「林業の大変さがわかった」「想像以上にきつい作業だった」という感想が多かったのですが、最終的なアンケートの結果をみると「楽しめた」「もっと切りたかった」「達成感を味わえた」などの意見を多くいただくことができました。

年間4回の森林カレッジもいよいよ最終回を残すのみとなりましたが、回を重ねるごとに逞しく育っていく?!カレッジ生の今後の活躍に大いに期待したいと思います。(磯)



森 林 教 室

八王子市立 片倉台小学校

9月23日に、八王子市立片倉台小学校の5年生47名が森林教室を体験しました。今年は、秋雨前線の影響で長雨が続き、今にも雨が降り出しそうな空模様の中、午後に実施する予定の森林観察を午前中に変更して実施しました。大平林道を歩きながら、森林や植物の説明に児童達は真剣に聞き入っていました。雨が続いたせいか林道にクガヒルやミミズが現れ「キャーキャー」と大騒ぎをしていました。

午後からは雨も降り出し、森林学習では森林の働き、樹木の成長の仕組みの説明、テントの中での丸太切りでは薄く切ったり、厚く切ったりして数枚の輪切りを切るなどいろいろな体験をしていきました。

閉校式では、スタッフの臨機応変な対応に対しての感謝の挨拶を残して、帰校していきました。(Ⅲ)



森 林 教 室

八王子市立 七国小学校

9月28日に、9月にもかかわらず蒸し暑い中、八王子市立七国小学校の5年生152名が森林教室を体験しました。七国小学校は、当センターで実施する森林教室の中で児童数が最も多い学校なので、①午前中に森林学習と丸太切り→午後から森林散策の班と、②午前中に森林散策→午後から森林学習と丸太切りの2班に別けての実施となりました。児童たちは森林の働きや高尾山の動物に興味津々、丸太切りでは児童達のほとんどがノコギリを使用した経験がありました。なかなか思いどおりに切れない子

もいましたが、全員が3~4回切ることができました。質問タイムでは「年輪の幅が違うのはなぜか?」「シカの食害が続くと森林はどうなるのか?」などの鋭い質問が出ていました。

森林散策では、沢ガニやミミズなどの出現に「ワイワイ」「ガヤガヤ」、沢の水を触ると「冷たい〜!」と大はしゃぎしていました。

前日にわくわくビレッジに宿泊した疲れも見せず、児童達は無事帰路に着きました。(Ⅳ)



クラフト体験

神奈川県立 津久井養護学校 (中学部)

9月26日、神奈川県立津久井養護学校の2名がクラフトを体験しました。体験は校外学習の一環で、生徒達は、ヒノキ、サクラ、月桂樹などの木片を削ったり、さわり心地を味わったり、樹の香りを楽しんだりして一時間ほどのクラフトを体験していきました。

センターでは、林野庁が提唱している「木育」を普及するために、幼稚園・保育所・特別支援学校等の教育関係機関を対象とした森林教室クラフト体験を実施していますので是非ご利用ください。(Ⅳ)



職 場 体 験

江東区立 深川第八中学校
八王子市立 横山中学校
八王子市立 甲ノ原中学校

高尾森林ふれあい推進センターでは、毎年、都内の中学校からの職場体験受け入れ要請に応え、当センターや近接国有林において森林・林業に関する業務を体験していただいています。今年は、9月に入り1日に江東区立深川第八中学校の2年生3名、7日～9日に八王子市立横山中学校2年生3名、13日～15日に八王子市立甲ノ原中学校の2年生3名の生徒たちが訪れました。

生徒たちには、当センターが実施するイベントの準備・実施の手伝いや、国有林内でのセンサーカメラの点検、間伐、歩道の修理・草刈り等の作業を体験してもらいました。生徒たちにとってはいずれも初めて体験することばかりで緊張したようですが真面目に取り組んでくれました。

特に、なかなか経験できない間伐作業は大変印象に残ったようです。また、炭焼きに必要な薪を作るため、斧での薪割りを体験してもらったところ、最初は恐る恐る振り上げていた斧を短時間のうちに見事に使いこなし、次々と薪を割る生徒たちの上達ぶりには感心させられました。短い時間での職場体験ではありましたが、生徒たちからは「とても楽しかった」「高尾に来て良かった」等の感想が聞かれ、多少なりとも仕事の大変さや森林・林業について興味を持ってくれたのではないかと思います。(谷)



平成28年度 一般公募イベント

「森林散策とつるかご編み」

日時：平成28年11月12日(土) 9:30～
場所：高尾山国有林 森林ふれあい館(貸切バス)
内容：森林散策の後、つるかご編みを行います。
募集人員：18歳以上の方30名(多数の場合抽選)
応募締切：平成28年10月21日(金) 必着
申込方法：往復はがきの往信面に①イベント名②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号、返信面に申

込者の宛名を記入の上高尾森林ふれあい推進センター「森林散策とつるかご編み」係までご応募ください。
保険料：80円
その他：小雨決行(荒天中止)
問合せ：高尾森林ふれあい推進センター
住所・電話・FAX等は下記のとおりです。

編集後記

9～10月は毎週のように森林教室が続くのだが今年は台風が多く秋の長雨という状況。天候不順だと非常に苦勞する。プログラムを急遽変更して、フレキシブルな対応が求められるのだ。ところで先日の森林教室の閉会式で児童から「雨にもかかわらずきめ細かく対応していただきありがとうございます」とお礼を頂いた。なんともビックリの神対応の一言。とても小学生とは思えなかった瞬間でした……。 (磯)

Forest 通信 No.332

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 050-3160-6040 FAX042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>